

令和元年 5月 5日
レポーター: 石黒廣行

1. 日 時 平成 31 年 4 月 28 日
2. 訪 問 地 騎西の玉敷神社のフジ
3. 目 的

玉敷神社は大己貴命を主祭神とする。埼玉県の前荒川流域を中心に数多く分布する伊豆神社の総本山的存在である。又玉敷神社の神楽は江戸里加倉の原型を伝え、特色ある舞中心の神楽で400年以上の歴史を持っています。

玉敷神社の敷地は約2万5千平方メートルの中は古木が茂り「玉敷の杜」を形づくっている。今の時期では百畳敷きと言われる樹齢400年以上のフジの木があります。去年は満開を過ぎてしまいましたが、今年は調度見頃でしたので楽しんで下さい。



時計は朝早かったので9時10分を指している



大フジの全景



葉が見えないくらいフジの花が満開であった



フジの房は小さな花の集合体であった



新緑の葉と紫のフジが良く合っていた



大フジの果房は微風にそよいでいた



白いフジもやっと開花を迎えた



百畳あると言われる大フジの全景



見事な大フジの房



フジ祭りの会場、加須市は鯉のぼりの産地である

★花は皆様に見に来ていただく事を待っています。気がいたらレポートして下さい。